

あさがおで遊ぼう！

大切に育ててきたあさがおの葉や花で遊んでみるのも楽しいものです。遊びはあさがおの愛着を深める手段の一つです。大切なのは、みんなで楽しむことです。

ここが
ポイント

遊びとの出会いをひと工夫！

早く花が咲いた子のお花をもらって先生が少しだけ見本を見せたり、教室に作品をさり気なく飾っておいたりするなど、提示の仕方を工夫します。それだけで、「次は自分もやってみたい」「自分の花も早く咲かないかな」と、子どもの思いが広がっていきます。

ここが
ポイント

遊びのバリエーション！

自分の大事なあさがおだからこそ「取りたくない」という思いをもつ子がいて当然です。そのような場合は、子どもの思いを大事にしながら取れた葉や花での遊びがあることを教えてあげると効果的です。「取ってしまった葉や花の遊び」「ついている葉や花の遊び」の両方があることを知っていると、あさがおの万能さも感じられます。

気付き！

『遊びアラカルト』の場面で、あさがおのすごさを感じることができます。成長の変化が大きいだけではなく、花も葉も多様な遊び方ができます。最終的には、種で遊んだりつるでリースを作ったりもできます。たくさんの遊びを紹介する中で、あさがおの万能さに気付かせていきます。

◇ 押し葉・押し花 ◇ ラミネート しおり・うちわ



立派な葉だったから、おしばなにしてみたよ。

やったあ。うれしいな。お花もおしばなにしたくなってきたよ。



◇ 色水遊び ◇



大丈夫。取れてしまつた花でいっぱい遊べるよ。お花のスタンプ、色水づくり。あと、色水を半紙に付けてしょりも作れるよ。

Active

教師の方で、遊びのきっかけをつくりていきますが、そのことをもとに、自分で遊びを考えた子が出てきたら、交流タイムを設けます。友達のよさが広がります。

◇ あさがお風船 ◇



あさがおの取れたお花で風船ができます。「ふすっ」と音が出て楽しいです。

※この他にも、「たたき染め」や「たたかない染め」など、インターネットで多数紹介されています。クラスの子どもたちに合った遊びを調べてみましょう。